

さつき晴れの下で

—15回県民体育祭スナツプ—

「模擬国体」としての意義をもつたこの「県体」は、各競技場において例年になく熱戦がくりひろげられた。これはカメラがとらえた「県体」のスナップ……



↑ 五月の空にひるがえる日の丸と県旗(左)と熊本市旗(右)



↑ 県民の歌を合唱する女子高校生



↑ 標旗を先頭に堂々の入場式



↑ 聖火台に点火する金栗さん



↑ 大会のプロローグ、合同プラスバンド(上)と小学生鼓笛隊(下)



このような意味から、先ず、規模を逸早く適正規模程度までに引き上げる努力を、今後根気強く続けてゆくべきである。

本年度の重点は……

農協の育成は、あらゆる角度から、色々な方法を講じてゆくべきであるが、その重点についてのみあげると、

1、合併を推進する

昭和三十四年八月に農協合併促進委員会が設けられ、又、郡段階にも同様な機構が設けられて、現在の単協の経営規模を適正にする努力が続けられているが、県では特に、その促進を図るため、合併組合に対し、一件あたり十萬円の奨励金を交付するよう予算措置済みで、又、農協中央会においても所要の経費補助につき計画中である。

2、営農指導事業を強化する

営農指導は農協事業の基本となるもので、その他の事業はこの結果生れる経済活動としてすゝめられるべきである。

特に、これまで組合員と組合との結びつきが薄いということが問題となっていたが、このような点を打開する上に、営農指導事業が大いに役立っていることも見逃してはならない。

県では、この事業の推進を図るため百六十萬円を投じて農協の営農指導体制の整備を図ることにしている。

農業生産と生活改善

「働くこと」が先で「生活」はあとという時代はすぎた。「働くこと」は「豊かな農家の生活」をする為の手段であつて、「生活」そのものがまず大切である。とは云つても、農家の生活もその改善も、農業生産をはなれては成りえない。そこで、私達の「明るい豊かな農家生活」は「合理的にうんと働き」「合理的に生活を改善する」という二つのことが車の両輪のように廻転していつてはじめて実現できるものであろう。

最初はカマドの改善や改良作業等生活用具の改善から始まつた生活改善も、今日では更にモノの考え方や計画性など精神的な面までも含んで、「計画的な生活を確保する」という段階にまで進んできた。

そうして、これがひいては農村の共同化意識を高め、農業生産(即ち所得)が増大する、それによつて豊かな農家生活が築かれる……という循環を生むわけである。

シグナルはすでに「緑」!!

以上のように、本県の農業をつぶさに分析検討すれば、かず／＼の課題と問題点が浮彫りされてくる。

「合理化」と「コストの切下げ」或は「共同化」「法人化」等々、農業経営の新しい展開は、もはや昔ながらの考え方をとつてい許さない。

県では、これら新しい課題の基盤として、土地改良などをはじめとする「基礎条件の整備」にも力を注いできたが、新

行幸啓事務本部を設置

県では第十五回国体に伴う行幸啓の事務の万全を期するため、六月一日付をもつて行幸啓事務本部を設置しました。

本部長には知事、副本部長には副知事及び出納長があたり、総務、奉迎など八つの班長には各部長及び国体事務局次長がそれぞれ任命されました。

なお、寺本知事はこの本部設置に際しつぎのような談話を発表しました。

「第十五回国民体育大会に御来臨のため天皇、皇后両陛下の行幸啓が予定されておりますことは慶びにたえないところであります。

つきましては県民の皆さんと共につがなない行幸啓を祈念致し、心から奉迎を申し上げるため、奉迎諸般の準備事務を進めて行きたいと存じております。

このため六月一日県行幸啓事務本部を設置し、関係部課が緊密な連携の下に協力して遺漏なき準備態勢をととのえ奉迎の万全を期すること

しい考え方と相まって、明日の農業へのゆるぎない基盤となるであろう。

シグナルはすでに「緑」。

我々は、今こそ本県の農業の進むべき道を真剣に見つめ、着実な歩みを開始すべきではなからうか。

と致しました。」

定例県議会ひらかる

六月定例県議会は、つぎのとおり十七日からひらかれます。

(会期九日間)

17(金)本会議 ①開会 ②会期決定

③県提出議案の上程(人事関係議案を除く) ④知事説明

18・19(土・日)休会 議案調査

20・21(月・火)本会議 一般質問

22・23(水・木)休会 各委員会

24(金)休会

25(土)本会議 人事関係議案上程 委員長報告、質疑、議決、閉会

国体PRにひと役

国体フォトニュース

県国体事務局では、ま近に迫つた熊本国体への意態を一層盛り上げるために、このほど熊本市手取本町新世界グリの外壁に「国体フォトニュース」掲示板を設けました。

県体の記録写真をはじめ、国体の準備の模様など次々と掲示していく予定です。